

— Rethink “Fukushi”

福祉は、 思っているより広い。

「福祉」という言葉に、あなたはどんなイメージを持っていますか？
多くの人が抱く4つの誤解を、大学での学びの視点から解いていきます。

— Four common misunderstandings

01

MISUNDERSTANDING

「福祉＝介護、でしょ？」

高齢者の介護は福祉の一分野にすぎません。
子ども・障害・困窮・医療・地域・災害・行政・学校・
司法・企業まで、福祉の領域は驚くほど広いのです。

02

MISUNDERSTANDING

「対象は高齢者だけ？」

いいえ、福祉は「特別な人のための特別なこと」ではなく、「すべての人のためのもの」です。乳幼児から高齢者まで、人生のあらゆる段階に関わる制度や実践です。

03

MISUNDERSTANDING

「“やさしい人”が向いている？」

福祉学科の学生が“やさしい”のは事実かもしれませんが、その上に福祉・法律・医学・心理・社会学等の専門知識と技術が積み重なる学際的な学問です。

04

MISUNDERSTANDING

「ボランティアの延長？」

ただの善意ではありません。社会福祉士・介護福祉士は1987年に創設された我が国初の福祉国家資格です。福祉学科では、資格を取らずに学ぶことも可能です。

— The Truth

福祉は、「すべての人」と「社会」をつなぐ、
理論と実践の学問。